

大手川河川改修事業に伴う 魅力的な市街地の再生

京都府宮津市

宮津城の城壁復元に取り組む会 宮津市

宮津市は宮津城の築城に伴い、大手川をはさんだ対岸の浜手が近世城下町として整備され、まちの基本構成は現在に至るまでおおむね変わりません。

平成16年の台風23号により甚大な被害を受けた大手川では、復旧事業を契機に官民協働でまちづくりを含めた河川改修が進められました。整備にあたっては地域の景観やまちづくりを一体的に進めるため、市民参加のワークショップで提案した整備計画を元に公共工事が実施されました。宮津城下町の風情を再現すべく「宮津城の城壁復元に取り組む会」がまちづくり基金として寄付金を募り、城壁を模した護岸を復元整備しました。

住民のワークショップでの意見を取り入れ、大手川河畔で整備された市道鶴賀京口線等の道路は市民から愛称を公募し「しらかべのみち」と名付けられました。また工事用地跡を復旧整備した「大手川ふれあい広場」は日本で最も古いとされている木造聖堂「カトリック宮津教会」の視点場となっています。大手川河畔では2010年7月に開催した「七夕コンサート」や1

7年ぶりに再開した「ダンボール舟レース」等複数のイベントが開催され、市民や観光客が憩える癒しの場として様々な活動が徐々に拡がりつつあり、また市民活動団体も複数立ち上がる等市域全体にまちづくりの機運が高まり今後の発展が期待できます。



大手川河川改修整備にあたり住民が参加するワークショップの様子



大手川に親しむことができる「大手川ふれあい広場」の様子



「しらかべのみち」は護岸の上に白壁の塀を設け、土色舗装とし、宮津城下の雰囲気再現



17年ぶりに大手川で開催されたダンボール船レース



大手川ふれあい広場で開催する七夕コンサートの様子

- ◆所在地
京都府宮津市字鶴賀、柳縄手
- ◆活動内容
ダンボール船レース：平成22年8月下旬
七夕大手川ふれあいコンサート：平成22年7月上旬
- ◆活動主体名
宮津城の城壁復元に取り組む会
- ◆連絡先
宮津市建設室
0772-22-2121



手づくり郷土賞について

講評

一般部門

大賞部門

資料集